

取 扱 説 明 書

2 号 消 火 栓 補 助 散 水 栓

機器を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

尚、この取扱説明書は、最終顧客様までお渡し願って、日々お客さまの目の届くところに保管していただきますようご配慮程、お願いします。

株式会社 立 売 堀 製 作 所

はじめに

正しい操作方法をご理解頂くため、この取扱説明書を必ず最後までよくお読みください。



危険

操作手順に従い、正しく操作して下さい。

誤操作は、人及び物品に危害を与えることがあります。

[設置上の注意]

- ・ 通行または避難の妨げにならず、火災時等に支障なく操作が行える場所に設置すること。
- ・ 埋込型本体は壁面より露出させないでください。

[操作手順]

1) 消火栓箱の扉を開け、ノズルを取り出す。

2) 消火栓バルブを開ける。

- ・ 消火栓バルブの開閉方向は、反時計方向へ回すと開きます。バルブは全開にして下さい。
全開と同時にポンプ起動のスイッチが入りホース内部に充水します。
- * 補助散水設備の場合は、ポンプ起動がスプリンクラー設備と連動しておりスプリンクラーが作動すればポンプは自動的に起動します。又、散水栓をそのまま放水し続ける事によって、アラーム弁の働きによってポンプは自動起動します。



注意

- ・ 消火栓バルブを開ける前に、ノズル部にあるコックが閉じている事を確認してください。
コックのハンドルがノズルに対してクロスした状態で閉となります。

3) ノズルを両手でしっかりと握り、火点へ向かう。



警告

ホースは長さ20mの物が収納されています。ホース延長にあたっては、引張力100N以下でスムーズに取り出せますので、大きな抵抗を感じたときが限界長さです。
それ以上無理に引っ張るとホース破損の原因となります。

4) 火点に向けてノズル部のコックを開け、放水する。

反時計方向に90°（ストッパーに当るまで）回転させ、コックのハンドルがノズルに対して平行の状態ですべて開となります。



警 告

- ・ ノズルは非常に操作しやすいサイズですが、放水時には前傾姿勢を取り、**必ず両手**で保持してください。
- ・ **人に向けて、放水しないでください。**



[復 旧 方 法]

1) ノズル部のコックを閉じ放水を終了した時点で、消火栓バルブを閉じる。

この時ポンプは作動を続けています。全ての放水が終了した時点で、**ポンプ室**の停止ボタンを押してください。

2) ノズル部のコックを開けて、内部圧力を抜く。

3) バルブとホースの接続を取り外して、ホース内部の残留水を抜き取ってよく乾燥させる。

（ホースを長くご使用して頂くために必要なことです。）

4) バルブにホースを取り付ける。



注 意

バルブにホースを取り付ける時、手で締め付けただけでは漏水しますので、工具で確実に締め付けてください。

5) ホースを収納部の中に順次送り込み、収納し、ノズル部のコックを閉じる。

ノズル（巻終り部）は、取り出しやすい位置に置いてください。

6) 消火栓箱の扉を閉める。

[保守点検時の注意事項]

所定の機能・性能を維持するために消防設備士もしくは消防設備点検資格者による法定点検を実施下さい。

以 上